



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校
電話 059-378-0063
FAX 共用 059-378-0006
校長 山中 喜宏
https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和6年11月12日 No.26

11月も半ばに差し掛かり、日中の気温も下がってきましたが、朝夕との寒暖差がとても大きいです。体温調節が難しいため、体調管理にはさらなる注意が必要です。

今回の加小っ子だよりでは、修学旅行の様子やこれまでの各学年の授業の様子などをお伝えします。

思い出に残る修学旅行になりました

11月6日(水)・7日(木)の両日、素晴らしい秋晴れの中、6年生が楽しみにしていた、京都・奈良方面への修学旅行に行ってきました。充実した2日間で、京都・奈良の歴史、文化の学習だけでなく、班別の自由行動や、見学や旅館で過ごすグループ活動などで、なかまのいい面を見ることができたり、みんなで活動することの大切さに気付いたりできたことと思います。前日までの準備等、保護者の皆様にもご協力いただいたことで無事に修学旅行を終えることができました。本当にありがとうございました。



<行程>

○11月6日(水)

学校発 ⇒ 鹿苑寺金閣 ⇒ 二条城 ⇒ 京都市内班別行動 ⇒ 清水寺 ⇒ 旅館

○11月7日(木)

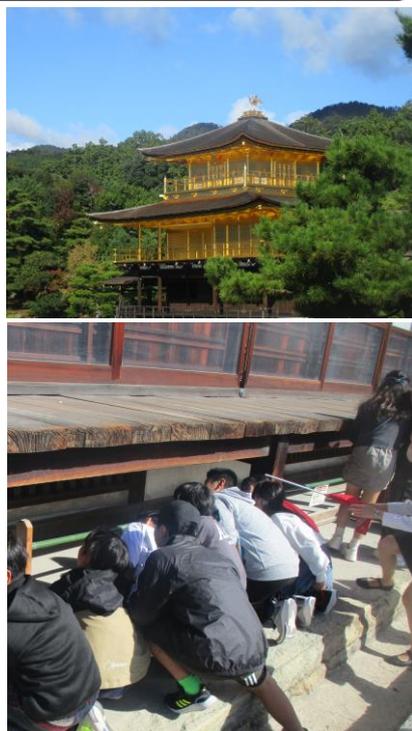
旅館 ⇒ 光雲寺 ⇒ 東大寺・奈良公園 ⇒ 法隆寺 ⇒ 学校着

1日目は京都での活動となりました。

秋の京都は、まだ紅葉には時期がはやいものの、どこに行っても修学旅行生や外国人観光客がとても多かったです。

金閣寺は開門と同時に見学となりました。金箔が貼られた建物は、とてもきらびやかで、思わず「すごい」と声が出てしまうほどで、室町時代初期北山文化の象徴を間近に見ることができました。

二条城では、建物の中に入り見学しました。ふすまや天井画、欄間等の実物に触れ、豪華な内装は、徳川幕府の権威を示すものだと実感できました。鶯張りの音の鳴る仕組みをガイドさんに説明していただき、床板が特殊な釘で留められているところを見学することで、廊下を歩く時の”キュッ、キュッ”という音が鳴る仕組みを実感することができました。



昼食後に、現地ガイドさんと一緒に京都市内の寺院などの見学や体験活動に回りました。くわしい解説も聞きながらより深く見学することができ、寺院の雰囲気や現在の文化などに触れるとともに、京都ならではの小物や食べ物などの制作



体験学習を組み入れた班もあり、充実した活動になりました。すべての班が迷子になることもなく、時間通りに集合場所に到着することができました。清水寺では、舞台からだけでなく、舞台の下から見上げることでその大きさを実感できました。清水坂は修学旅行生や観光客で自分の意志では歩けないくらい人がいましたが、お土産選びを楽しみました。

その後、旅館では、夕食と友だちとのおしゃべりを堪能しました。

体調を大きく崩した児童もなく、1日目の活動は無事に終了しました。



2日目は、京都での活動後、バスで奈良へ移動しての活動となりました。

早朝から、準備をし、光雲寺にて、座禅体験を行いました。何も考えず、こころを整える体験をしました。その後、奈良に移動し東大寺を見学しました。大仏殿を間近で見た後、大仏殿の中に入って大仏を下から見上げることでその大きさを実感し、驚きを隠せない様子でした。



大仏殿内の柱に開けられた、鼻の穴の実物大の穴をくぐり抜ける体験もできました。二月堂の舞台からは奈良市内が一望でき、清水寺の舞台から見た京都の景色とはまた違った美しさがありました。



昼食後、鹿せんべいをあげることができました。はじめは恐る恐るあげていましたが、慣れてくるとたくさん鹿が寄ってきても上手にあげることができました。

最後の見学地法隆寺では、世界最古の木造建築物や国宝級の仏像等、普段写真等でしか見ることができない現物を間近に見ることができました。

その後、バスで帰路につきました。

体育館での到着式では、何事もなくみんなが無事に帰校したことがなによりよかったことです。

到着式では、実行委員のみんなが一生懸命取り組んでくれた事前準備や各所での司会進行などにみんながここから感謝しました。



6年生のみんなには、今回の修学旅行を「楽しかった。」と一言で片づけてしまうのではなく、様々な体験ができたこと、いろいろな思い出ができたことなど、修学旅行の一コマコマをていねいにふり返って、自分の成長の糧としてほしいです。同時に、担任や引率の先生、添乗員さん、カメラマンさん、バスの運転手さんやガイドさん、京都での現地ガイドさんなど、様々な方々のサポートがあり、修学旅行が安全に実施できたことを実感するとともに、元気に送り出してくれて、笑顔でお迎えに来てもらったお家の方々の支えを「あたり前、当然」と思わずにあらためて感謝の気持ちを持ってほしいと思っています。



SS ピンポンを体験しました

11月8日(金)、4年生が視覚に障がいのある方との関わり方や共に生きることの大切さなどを学ぶことを目標に、SS ピンポンを体験しました。

SS ピンポンは、卓球台の上で金属球が入った音の出るボールをラバーなしのラケットで打ち合う競技で、誰でも楽しめるユニバーサルスポーツとして親しまれています。

昨年度もお世話になりました黒田さん、中島さんにSSピンポンのルールを教えていただき実際にゲームを行いました。子どもたちは、はじめはなかなかラリーが続きませんでした。コツがつかめてくると続くようになり、楽しく試合をすることができました。体験後、いろいろな質問に答えていただきました。

